

# 祝 日本遺産の構成文化財が追加認定されました！

【 令和2年6月19日解禁 】

文化庁の日本遺産認定制度が始まった平成27年度に、人吉球磨の歴史と文化を物語るストーリー「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～」が認定されていますが、このほど令和2年6月19日付けで、新たに「人吉球磨のやきもの（上村焼、一勝地焼）」と「市房杉」の2件が追加認定となり、構成文化財数は合計59件となります。

それぞれの魅力が際立つと同時に、相良氏や民衆の信仰と歴史文化的建造物が物語で結ばれ、歴史の追体験をしながら人吉球磨を探访するルートとして、日本遺産の活用の幅が広がったといえます。

私たちの身近に現存する寺社仏閣、史跡、仏像、風習、風土、お祭りなどの一つ一つが、先人たちから受け継がれた暮らしの積み重ねであり、今も息づく歴史文化です。

多種多様な文化財群によって織りなされる人吉球磨の日本遺産ストーリー、これらを知ることから、地域の歴史文化を誇り、守り伝え、地域資源として様々な活用することにつながります。

## 新規追加

広域



ひとよくまのやきもの(うへむらやき、いっしょうちやき)

### (58)人吉球磨のやきもの(上村焼、一勝地焼)

上村焼や一勝地焼に代表される人吉球磨地域の陶磁器。上村焼のルーツは文禄・慶長の役に参陣した相良長毎が、朝鮮から陶工を連れ帰り生産されたことに始まるといわれる。また、相良家家臣の右田伝八による一勝地（球磨郡球磨村）での原料の発見を契機に一勝地焼が始まり、現在でも連続と日常生活に使用されている。

水上村



いちふさすぎ

### (59)市房杉

お嶽さん参りも行われる霊峰市房山の市房杉は、樹齢1000年とも言われ、幹回りは数mにも及び、巨大な杉が立ち並ぶ様子は圧巻で、全体が神秘的で荘厳な景観である。



## 名称変更

| 番号 | 変更前        | 変更後                                               | 内容                                                                        |
|----|------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 19 | 勝福寺関連文化財   | → しょうふくじかんれんいさんぐん<br><b>勝福寺関連遺産群</b>              | あさぎり町<br>勝福寺は相良氏入国以前の在地豪族の菩提寺ながら、相良氏による保護を受け続けた寺院。仏像をはじめ、古塔碑群、毘沙門堂などの遺産群。 |
| 25 | 多良木相良氏関係史跡 | → たらぎさがらしかんれんいさんぐん<br><b>多良木相良氏関連遺産群</b>          | 多良木町<br>相良氏が鎌倉時代に下向した後、在地に受け入れられるまで苦心した時期の館跡と、その当時、民衆のために開削した灌漑用水などの遺産群。  |
| 30 | 生善院観音堂     | → しょうぜんいんかんのんどうおよびほんどうとくり<br><b>生善院観音堂及び本堂と庫裏</b> | 水上村<br>人吉藩化け猫騒動にちなむ観音堂。市房山神宮参詣時には藩主が立ち寄った記録が残る。「狛猫」が参拝客を迎える。              |
| 49 | 上村相良氏関連遺跡  | → うへむらさがらしかんれんいさんぐん<br><b>上村相良氏関連遺産群</b>          | あさぎり町<br>戦国時代、相良氏の庶流から本家を相続した上村氏の城跡のほか、上村氏墓地、麓町武家屋敷群などの遺産群。               |